

## 検証の目的と留意点について

### 1. 検証の目的

本委員会は、これまでに経験のないエリア全域で系統から電力供給が喪失する大規模停電（以下、「ブラックアウト」という。）を踏まえ、一連の事象を明らかにし、原因究明とこれを教訓とした再発防止策を検討することを目的としている。ただし、検証による原因究明は責任追及を目的とするものではない。

### 2. 検証の留意点

本委員会は透明性の確保及び適切な検証を行うにあたって、事務局は以下に留意する。

- より正確なデータによる検証を行うため、北海道電力株式会社の実データを用いて検証を行い、北海道電力の中給から広域機関に転送されたデータについては通信による時間のずれや欠損が生じるため検証のデータとしては用いない。ただし、北海道電力の実データが適切なデータとなっているかの確認に用いることとする。
- 透明性の確保のため、データはグラフ化されたものだけでなく、実数データを公開する。ただし、データを取得した地点などにより時間のズレや送電ロスなどに相違が出ることから、データの出所を明らかにする。
- 検証においては、データで確認可能な確実性の高い事実だけでなく、一定の推計や仮説から説明が必要になる事象がある。このため、事実と仮説を混合しないよう留意する。
- 本委員会は専門的な知見からご議論いただくが、専門用語には解説を付けるなど、一般の方々への理解促進に努める。